



2017/18年度コーヒー市場は生産過剰で終える

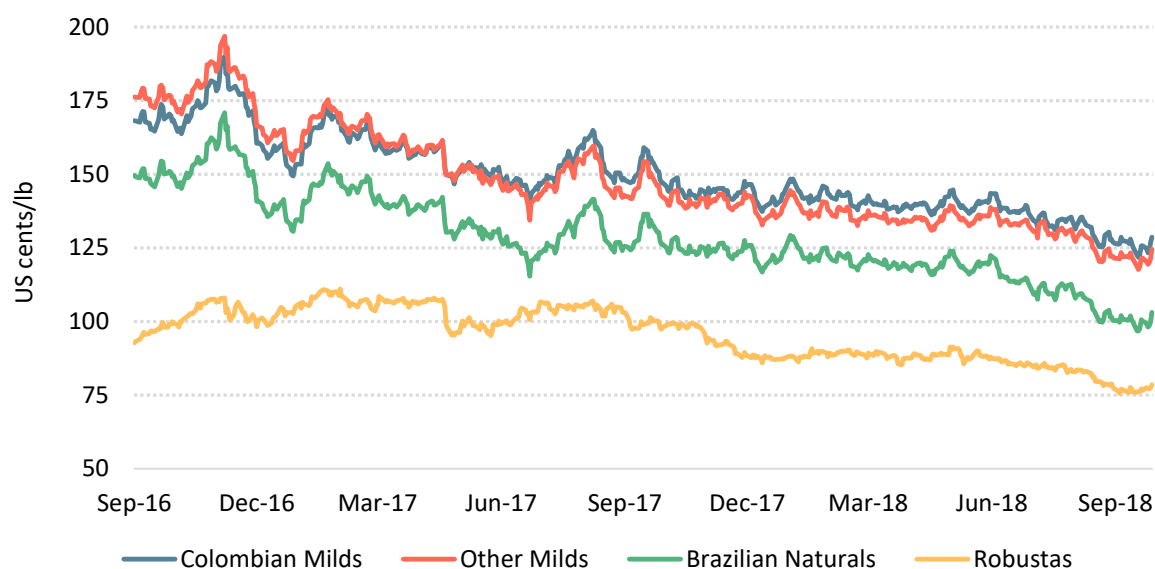
2017/18年度、世界のコーヒー生産量は、アラビカが2.2%増加して101.82百万袋、ロブスタが11.7%増加して62.99百万袋となったことから合計で164.81百万袋、5.7%増加と推定される。2017/18コーヒー生産量の増加は、2017年8月と比較して6.3%増加し11.1百万袋となった2018年8月の輸出量の増加に反映されている。2017/18年度世界消費量は1.8%増加して162.23百万袋と推定されるが生産量は消費量を2.58百万袋上回った。この生産過剰が今シーズンの低価格の要因である。ICO複合指標価格は、2018年9月に98.17USセント/ポンドとなり8月より4.1%下落、2006年10月の最低月次平均値95.53USセント/ポンド以来の最安値を付けた。すべてのコーヒーグループ指標価格平均は2018年9月、4ヶ月連続の下落となった。最大の下落はロブスタ平均価格で5%下げの76.70USセント/ポンド、これに続きブラジルナチュラルが4.4%下げ99.87USセント/ポンドを付けた。

図 1: ICO 日次複合指標価格



コーヒー価格は2018年9月のICO複合指標価格月次平均が98.17USセント/ポンドをつけ、8月より4.1%低下するなど下落傾向が続いた。これは2006年10月の95.53USセント/ポンド以来の月次平均最安値である。また9月28日に100.83USセント/ポンドをつけるまで日次複合指標価格は100 USセント/ポンド kgを下回っていた。9月18日には95.87セント/ポンドに達し日次複合指標価格の最安値を記録している。

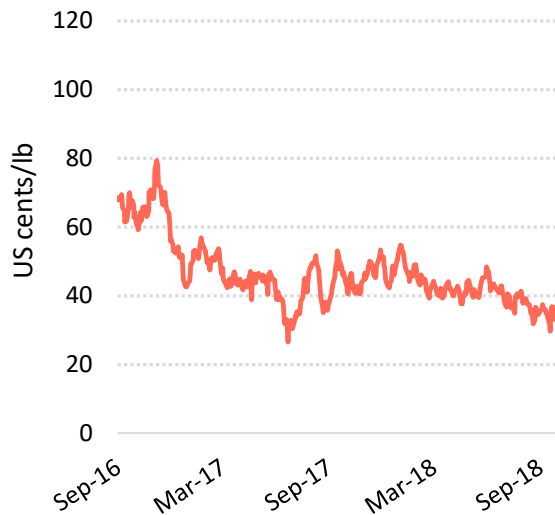
図 2: ICO 日次グループ指標価格



© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

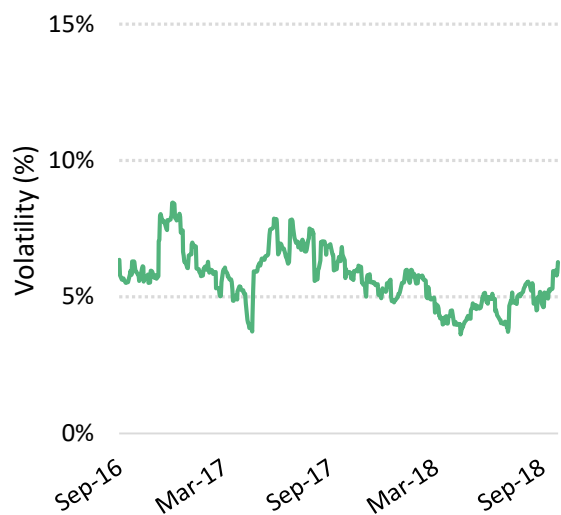
すべてのグループ指標価格で2018年9月は8月対比下落した。最も下げたのはロブスタ平均価格であり5%下げの76.70USセント/ポンドとなった。次いでブラジルナチュラルが4.4%下落し99.87 USセント/ポンドとなった。アラビカグループの指標価格とは異なりロブスタ指標価格は最近になって低価格水準で推移している。2009年3月から2010年5月の間、ロブスタの月次平均価格は2018年9月よりも低く、67.25 USセント/ポンドから76.31 USセント/ポンドのレンジだった。しかし、ブラジルナチュラルの月次平均価格は、2006年10月の99.23 USセント/ポンド以来、100 USセント/ポンドを下回ることにはなかった。コロンビアマイルドは3.3%下落し125.74 USセント/ポンドとなり、アザーマイルドは3.2%下げの121.18 USセント/ポンドだった。前回のコロンビアマイルドの月次最安値は2007年8月の125.22 USセント/ポンドで、アザーマイルドは2007年7月の117.63 USセント/ポンドだった。9月のニューヨーク／ロンドン先物市場月次アービトラージ平均は、3.8%減の34.80 USセント/ポンドとなり3ヶ月連続して縮小した。一方で、ICO複合指標価格の価格変動率は、ブラジルナチュラルを除く全てのグループ指標価格の変動率が上昇したことから0.2ポイント上昇し5.4%となった。

図 3: ニューヨークとロンドン先物市場
のアービトラージ



© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

図 4: ICO複合指標価格の30日間移動平均
価格変動率



© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

2017/18年度の世界コーヒー生産量は5.7%増の164.81百万袋と予想されるが、これには4月と7月に収穫年度が始まる生産国の新穀が一部含まれている。アラビカとロブスタともに2017/18年度が生産は増加したが、主に増えるのは2016/17年度対比11.7%増の62.99百万袋となるロブスタである。特にベトナムでは15.5%増の28.03百万袋と推測され、またブラジルもロブスタ生産は回復を続けており16.1%増の13.46百万袋の予想である。インドは両方のタイプを生産するが、十分な降水量と灌漑用水の普及によりロブスタ生産量は12.3%増の4.09百万袋と予想される。

図 5: 世界コーヒー生産量



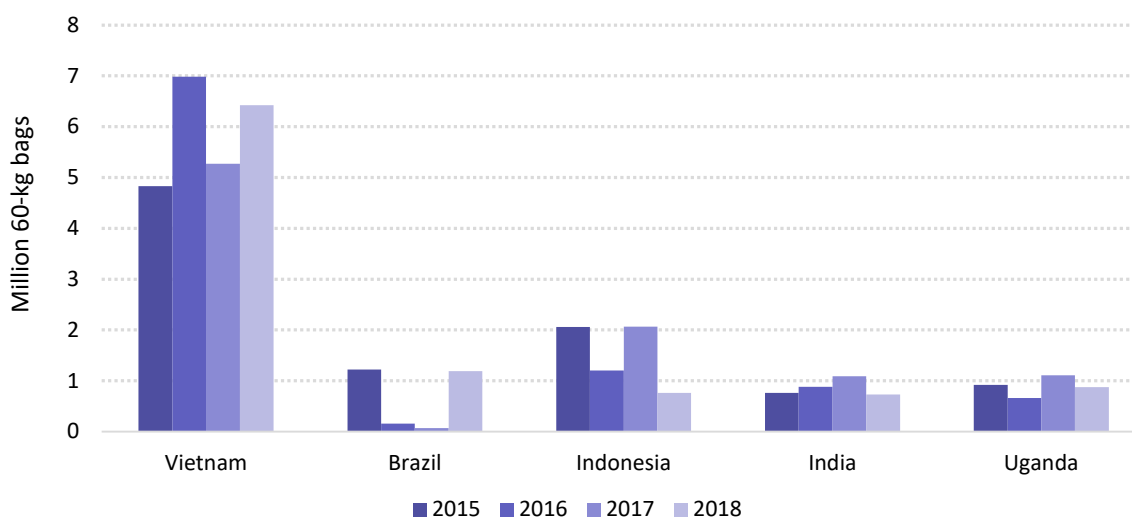
© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

アラビカの生産量は2.2%増加の101.82百万袋と予想される。コロンビアの生産量は、天候不順のために2016/17より4.3%低い14.00百万袋と推測されているが、他の4大アラビカ生産国の生産量は増加した。2017/18年度のブラジルのアラビカ生産量は、新穀の一部を含め3.5%増の44.23百万袋と予想されている。ホンジュラスは2016/17年対比3.3%増の7.7百万袋と予想され4年連続の増加となる。エチオピアは7.65百万袋を収穫し前年比較4.8%の増加となった。ペルーのアラビカ生産量は0.8%増の4.29百万袋と予想されている。

2017/18年度の生産増加は輸出量の増加に反映されている。2018年8月、すべての種類と形態のコーヒー輸出量は2017年8月と比較して6.3%増え11.1百万袋に達した。アラビカの輸出量は6.7%増の6.95百万袋、ロブスタは5.7%増の4.16百万袋となった。アラビカの輸出量増は主としてブラジルナチュラルが2018年8月に14.7%増の3.3百万袋まで増えたことに起因するが、その一方でコロンビಾಮイルドは11.6%減の1.11百万袋である。

2017/18年度の最初の11カ月間で世界コーヒー輸出量は2016/17年度同期間よりも1.6%増加している。2017年10月から2018年8月までのアラビカ輸出量は2016/17年対比で0.2%増加しているが、これはアザーマイルドの輸出増加がコロンビಾಮイルドおよびブラジルナチュラルの輸出減少を相殺したことによるものである。

図 6: 6月から8月におけるロブスタ生豆輸出量



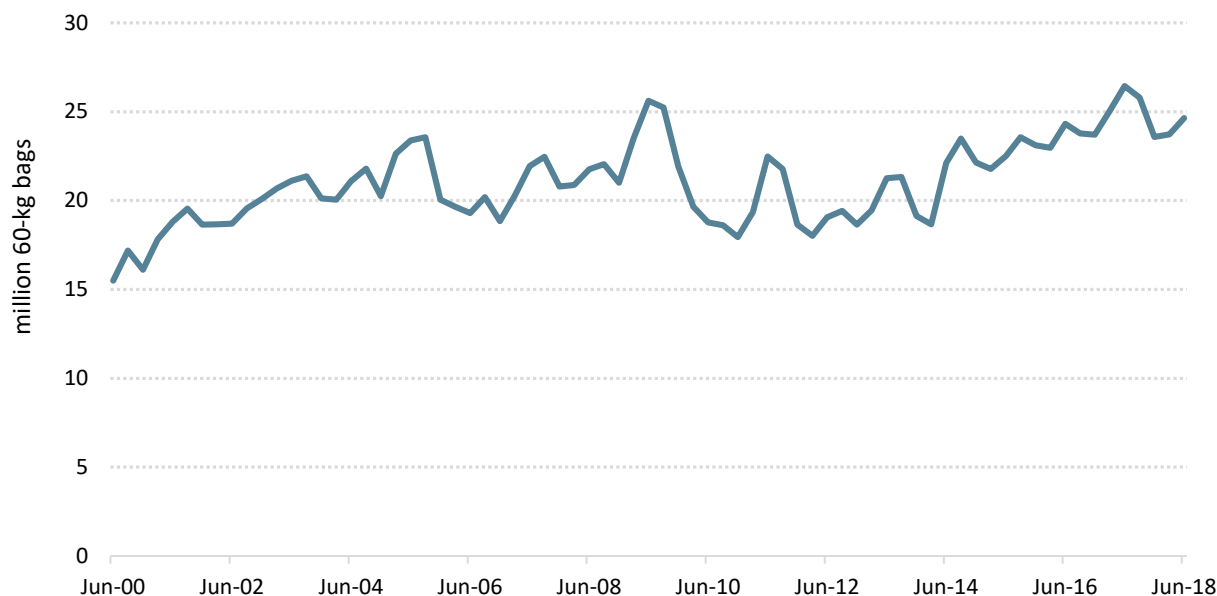
© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

ロブスタ輸出量は2017年10月から2018年8月にかけて3.9%増の42.00百万袋となった。ロブスタ生豆の輸出量は2018年5月以来毎月増加している。ブラジルの2018年6月から8月（3ヶ月）のロブスタ輸出量は1.19百万袋で前年同期の17倍、2017年10月から2018年8月における輸出数量の78.8%を占めている。ベトナムは収穫期の終りに近づいているが

ロブスタ生豆輸出量は2018年6月から8月にかけて6.43百万袋と予想され、2017年に比べ21%の増加である。インドネシアはロブスタ生豆輸出の第3位であり、2018年6月から8月にかけて0.77百万袋を輸出したが、2017年同期間比較では62.9%減少している。これは国内消費量は増加しているにもかかわらず、生産量が変わらず、輸出可能数量が減っていることによるものである。同期間にウガンダはロブスタ生豆0.88百万袋を、インドは0.73百万袋を輸出した。

コーヒー消費量は2017/18年度に1.8%増加し162.23百万袋、その一方でコーヒー生産量はこれを2.58百万袋上回っている。この余剰の発生が2017年10月から2018年9月における複合指標価格平均が111.51 USセント/ポンドとなった今シーズンの低価格要因である。これと比較して2016/17年の複合指標価格平均は132.43 USセント/ポンドで、同年度が3.43百万袋の生産量不足を反映している。加えて2017/18年度のコーヒー輸出は記録的輸出数量であった2016/17年度を更に上回っている。これは、消費が増えているにも拘らずコーヒー年度初めに供給量が十分であったことから価格に更なる下方圧力がかったことによるものである。フリーポートを含むコーヒー輸入国のコーヒー生豆在庫は過去2年間で高水準を維持している。2010年の12月末に17.94百万袋に達した後、在庫数量は増加を辿り2017年6月末では26.40百万袋と言う記録的水準に達した。輸入国在庫量は2018年6月末に24.64百万袋迄減少したが、それでも過去18年間の6月末としては3番目に多い在庫数量である。

図 7: コーヒー輸入国における四半期末在庫量
(EUにおける輸出仕向地不詳の在庫を含む)



© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

表 1: ICO指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Sep-17	124.46	151.47	146.56	129.67	99.18	135.95	89.69
Oct-17	120.01	144.26	140.71	124.55	98.39	131.00	88.38
Nov-17	117.26	144.09	140.90	124.28	91.33	129.96	81.46
Dec-17	114.00	141.62	137.42	121.47	87.59	125.25	78.30
Jan-18	115.60	143.77	138.81	123.67	88.65	127.65	78.90
Feb-18	114.19	141.50	136.28	120.83	89.24	123.82	80.38
Mar-18	112.99	139.45	135.03	119.80	88.18	121.66	79.86
Apr-18	112.56	139.29	134.34	118.76	88.31	120.17	79.36
May-18	113.34	140.26	135.61	119.57	88.74	122.50	79.85
Jun-18	110.44	138.55	134.03	115.10	86.07	120.19	77.40
Jul-18	107.20	133.92	130.60	110.54	84.42	114.06	75.56
Aug-18	102.41	129.99	125.21	104.46	80.74	108.12	71.94
Sep-18	98.17	125.74	121.18	99.87	76.70	102.83	68.03
% change between Sep-18 and Aug-18							
	-4.1%	-3.3%	-3.2%	-4.4%	-5.0%	-4.9%	-5.4%
Volatility (%)							
Aug-18	4.8%	5.1%	5.5%	6.5%	4.1%	7.6%	5.1%
Sep-18	5.2%	5.7%	6.0%	6.9%	4.4%	8.5%	5.1%
Variation between Sep-18 and Aug-18							
	0.4	0.6	0.5	0.4	0.3	0.9	0.0

* Average price for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds	Colombian Milds	Colombian Milds	Other Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	New York*
	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	Brazilian Naturals	Robustas	Robustas	London*
Sep-17	4.91	21.80	52.29	16.89	47.38	30.49	46.26
Oct-17	3.55	19.71	45.87	16.16	42.32	26.16	42.62
Nov-17	3.19	19.81	52.76	16.62	49.57	32.95	48.50
Dec-17	4.20	20.15	54.03	15.95	49.83	33.88	46.95
Jan-18	4.96	20.10	55.12	15.14	50.16	35.02	48.75
Feb-18	5.22	20.67	52.26	15.45	47.04	31.59	43.44
Mar-18	4.42	19.65	51.27	15.23	46.85	31.62	41.80
Apr-18	4.95	20.53	50.98	15.58	46.03	30.45	40.81
May-18	4.65	20.69	51.52	16.04	46.87	30.83	42.65
Jun-18	4.52	23.45	52.48	18.93	47.96	29.03	42.79
Jul-18	3.32	23.38	49.50	20.06	46.18	26.12	38.50
Aug-18	4.78	25.53	49.25	20.75	44.47	23.72	36.18
Sep-18	4.56	25.87	49.04	21.31	44.48	23.17	34.80
% change between Sep-18 and Aug-18							
	-4.6%	1.3%	-0.4%	2.7%	0.0%	-2.3%	-3.8%

* Average price for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界コーヒー需給バランス

Coffee year commencing	2014	2015	2016	2017	% change 2016-17
PRODUCTION	149 844	156 332	155 958	164 810	5.7%
Arabica	88 148	96 017	99 589	101 819	2.2%
Robusta	61 695	60 314	56 368	62 991	11.7%
Africa	15 983	15 725	16 685	17 463	4.7%
Asia & Oceania	46 403	49 202	44 290	48 848	10.3%
Mexico & Central America	17 188	17 237	20 465	21 211	3.6%
South America	70 270	74 167	74 518	77 288	3.7%
CONSUMPTION	152 174	156 289	159 392	162 232	1.8%
Exporting countries	47 417	48 673	49 732	50 547	1.6%
Importing countries	104 756	107 616	109 660	111 684	1.8%
Africa	10 709	10 932	11 179	11 371	1.7%
Asia & Oceania	32 775	33 678	34 845	35 900	3.0%
Mexico & Central America	5 236	5 302	5 230	5 320	1.7%
Europe	51 043	51 829	52 070	52 322	0.5%
North America	27 363	28 934	29 564	30 344	2.6%
South America	25 048	25 614	26 505	26 974	1.8%
BALANCE	-2 330	42	-3 434	2 578	

In thousand 60-kg bags

表 4: 輸出国のコーヒー総輸出量

	August 2017	August 2018	% change	October-August		
				2016/17	2017/18	% change
TOTAL	10 444	11 102	6.3%	110 772	112 520	1.6%
Arabicas	6 514	6 947	6.7%	70 356	70 520	0.2%
Colombian Milds	1 255	1 109	-11.6%	13 504	12 769	-5.4%
Other Milds	2 383	2 539	6.5%	25 276	26 262	3.9%
Brazilian Naturals	2 876	3 300	14.7%	31 576	31 489	-0.3%
Robustas	3 930	4 155	5.7%	40 416	42 000	3.9%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available on the ICO website at www.ico.org/trade_statistics.asp.

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫量

	Sep-17	Oct-17	Nov-17	Dec-17	Jan-18	Feb-18	Mar-18	Apr-18	May-18	Jun-18	Jul-18	Aug-18	Sep-18
New York	2.03	2.15	2.17	2.23	2.24	2.14	2.21	2.26	2.28	2.33	2.33	2.51	2.70
London	2.52	2.19	2.20	2.09	1.79	1.52	1.37	1.32	1.34	1.14	1.28	1.26	1.51

In million 60-kg bags

＝トピックス＝

今月はトピックスとして IC0 の 9 月マーケットレポートに加えて、9 月 17 日から 1 週間にわたりロンドンで開催された第 122 回 IC0 理事会について以下の通り要旨をご報告します。

今回 IC0 理事会は 9 月 17 日～21 日初めてロンドンの国際海事機関（IMO）大会議室で開催された。会議の冒頭 IC0 事務局から本日は IC0 事務局長が加療入院中であり欠席せざるを得なくなったと聞き驚いたが、IMO 事務局長 Lim 氏、国連ウィメン・アメリカ協会代表 Carvallo 氏、IC0 理事会議長 Aly Toure 氏が開会挨拶を行った。事務局から会期中のアジェンダについて説明されたが、コロンビアが現在のコーヒー価格は生産コストを大幅に下回る異常事態であり準備されたアジェンダではなくこの低価格問題にどう対処するかが喫緊の課題ではないかと発言すると、ホンジュラス、ガテマラ、メキシコ等の生産国が同様の意見を述べた為、議長が生産国の意見がまとまった後で議論しようと提案し受け入れられ。その後 2 日間に亘り次のようなワークショップ、パネルディスカッションが開催された。

- （１） コーヒーバリューチェーンに於ける女性（Women in the coffee Value chain）
男女平等の立場から、コーヒーに於ける女性の地位はまだ低い、女性の地位向上がコーヒーバリューチェーンの価値を高めるとの内容だった。
- （２） コーヒー部門に於ける新技術利用及び革新投資（Harnessing Technology and innovation for investment in the coffee sector）
情報や投資関連の新技術をどのようにコーヒー生産に生かすかというものだったが、現場感覚からは少し離れている気がした。
- （３） 投資フォーラム（Donor's Forum）プロジェクト推進と投資
全部で 17 に上る銀行や公民投資機関が集まり彼らがどのようなプロジェクトに投資をしているか、またどうすれば投資を受けられるのか紹介された。希望者はさらに投資家と個別面談（Partnership Fair）することも出来た。最も関心を集めたのは地球環境ファシリティ（Global Environment Facility）で、今後 4 年間で 41 億米ドルを地球環境保護に投資するというものでコーヒーも同機関の投資対象に認定されており、参加者は具体的にどうすれば投資をうけられるのかに関心を示していた。IC0 は生産国の為に融資利用ガイドを作成し利用申請を促していた。日本の JICA からルアンダでコーヒー投資に携わっている若井氏が出席、彼らが現在実施しているエチオピア、ベトナム、ルアンダへのコーヒー関連投資案件の概要を説明した。

Sette 事務局長は会議の 2 日目から復帰したが、IC0 理事会準備中 12 日深夜に倒れたが安全を見て 5 日間入院していたとのことで 3 日目から通常の理事や委員会が開催された。

理事会（ICC）

IC0 は国際女性コーヒー同盟（International Women's Coffee Alliance）と、コーヒーセクターに於ける女性の地位向上の為に互いに協力するという内容の覚書（MoU）を締結し

た。ICO が用意した『新興市場：東南アジア』などの各種レポートが紹介された。今回も前回同様 Jeffrey Sachs 氏と 30 分のオンラインビデオ会議が行われたが中国など新興市場の消費拡大でコーヒー生産量が消費量においつかなくなり価格が上昇するというメキシコ同様の内容だったが、音声をはっきり聞こえず、また現実のコーヒー価格が 1 ドル割れの状況で迫りに欠ける内容だった。『2018 年国際コーヒーの日』のビデオが紹介され、『国際コーヒーの日』へ全日本コーヒー協会からの継続的寄付に対し事務局長から感謝の意が表された。

初日に生産国から提案されたコーヒー低価格問題について、Sette 事務局長が、『コーヒー政策はコーヒー木の寿命と同じく長期視点で考える必要がある。コーヒー価格の乱高下は常であり現在はテクニカルな理由で安くなっているが、Sachs 教授が言っているように中国含むアジアの需要は高い伸びを示している所以で時期が来れば価格は上昇するので辛抱するしかない』と発言するとコロンビア、ニカラグア、ウガンダ、グアテマラ、ホンジュラス、ケニア、アンゴラ、コンゴ、インド、サルバドル、コスタリカ、パナマ、メキシコなどの生産国代表から、『今の値段ではコーヒーコミュニティが破壊される』『我々はコーヒーを高く買って欲しいと頼んでいるのではない、要求しているのだ』『10月1日を貧困の記念日にしよう』『経済的奴隷時代は終わりにすべきだ』『オペックのように生産国で戦略在庫を持つ』などの値上げを求める意見が1時間半にわたり次々と述べられた。その後生産国代表は自国のコーヒー農家を説得する為に理事会（ICC）の立場を議決文として出して欲しいと要求し、最終的に生産国の提案内容が全面的に受け入れられた理事会議決文が採決された。

最後にケニア代表から2019年の理事会開催時期を3月25～29日に変更したいと、またインド代表から2020年の第5回世界コーヒー会議開催時期を4月から9月に変更したいとの申し出があり夫々承認され準備状況が報告された。

その後財務運営委員会が開催されたが（全協はオブザーバーの為出席できず）、米国が抜けて財政が逼迫しており加盟国の分担方法でもめた為、議論は最終日遅くまで続いたが結局次年度予算はまとまらず、また次年度の理事会議長にはスイス代表の Stefanie Kung 女史が選出されただけとのことであった。

民間部門諮問委員会（PSCB）

GCP(Global Coffee Platform)会長 Carlos Brand 氏がコーヒーの持続可能性を達成するには、特に中小コーヒー農家を教育する必要があるとしてその為には生産国政府を介入させる必要があり、輸出業者、農協、各種協会も巻き込んで教育プログラムを実施する必要があると話した。またこの目的の為、2018年国際コーヒー持続可能性会議（Global Coffee Sustainable Conference）を11月8日～10日にブラジルのベロオリゾンテで開催するので参加して欲しいと呼びかけた。欧州コーヒー連合（ECF）事務局長 Eileen Godon 女史が世界コーヒー取引の約40%をカバーする ECC（European Coffee Contract）を ESCC（European Standard Contract for Coffee）に衣替えし、公平、簡素、実務的で現実的な内容に変更したいとし、内容を説明した。ECF 内では2019年6月19日に承認済みな

ので、輸出業者側の承認が得た上で発効したいとしたが、ブラジル CECAFE が調停 (arbitration) 用の船積みサンプル採取期限がコーヒー陸揚げ後 28 日 (変更前は 21 日) に伸びる等変更内容が輸出者側に不利になっているとして再検討を要求した。また、インドネシアの GAEKI 代表も従来の契約条件でトラブルはなく変更には反対だとの意見を述べたが、ECF は近々ロンドンで ECF/輸出業者間で問題点を詰める為話し合いを持ちたいと述べるに留めた。CQI (Coffee Quality Institute) の Ms. Kimberly Easson 女史が、スターバックス、ネスプレッソ、キューリグ、テートコーヒー等コーヒー関連企業 15 社のサポートを受け男女平等 (Gender Equity) 推進運動を行っていると報告した。

プロジェクト委員会 (PJ)

ICO 事務局からウガンダの生産性を改善し 2030 年までにコーヒー生産量を 20 百万袋まで引き上げるという総額 24 百万米ドルプロジェクトが紹介され ICO もこのプロジェクトを支援するとの話があり承認された。更にアジア・オセアニア地域 11 コーヒー生産国のコーヒー生産の現状及び問題点のレポート内容の紹介があった。スイスコーヒー貿易協会 (Swiss Coffee Trade Association) の Michael von Luehrte 氏から C-GAP (Coffee Global Adaptation Plan) についてスイスの銀行等の支援を受け 350 百万米ドル 3 か年計画を作成するとの話があった。

プロモーション委員会 (PM)

農林水産省高柳氏が議長を務めた。ICD (国際コーヒーの日) 用のビデオ動画が紹介され、最後に後援者として AJCA と ICO のロゴが大写しされた。ICO の Patacconi 運営部長からは全協の協賛に対し感謝の意が表された。

統計委員会 (SC)

ICO 事務局からコーヒーデータ報告状況について説明があり、特に輸出国の中に報告義務が履行されていない国が多いとして、その理由及び改善策について報告され、加盟国のレポート状況を点数化する案が紹介され、承認された。

日本政府代表としては、農林水産省国際食料情報分析官高柳充宏氏と駐英国大使館参事官松本修一氏に出席して頂きましたので併せてご報告申し上げます。

以上